

Express5800/320La, 320La-R ユーザーズガイド正誤表

856-120722-002-A
2002年10月 第1版

説明書名 : Express5800/320La, 320La-R ユーザーズガイド (804-092322-002-A) 第1版

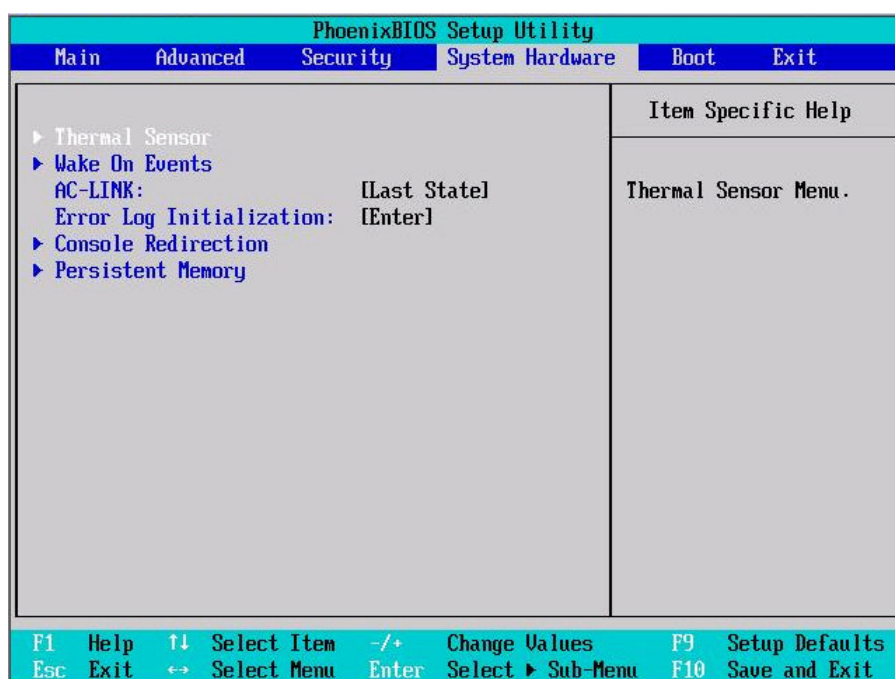
【区分】A:追加 C:訂正 D:削除 E:その他

Page	位置	区分	正誤内容
2-15	液晶ディスプレイ	A	正 重要 電源オン/オフを伴わない、リブート時のPOST中に下記のメッセージが表示されることがあります。 CPUx off-line CPUx removed OS起動後しばらくしてメッセージが消えた場合は故障によるメッセージ表示ではありませんので、そのままお使いください。
			誤
2-33	CD-ROMの取り扱い	A	正 本装置は、CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましても、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
			誤
4-5	設定例	A	正 Persistent Memory (ftMemory)関連 Persistent Memory (ftMemory)機能を有効にする。 「System Hardware」 「Persistent Memory」設定をする。
			誤
4-18	Security ページ中の2つの図中の2ヶ所	D	正
			誤 Processor Serial Number : 「Disable」
4-19	表中	D	正 Processor Serial Numberの項を削除
			誤
4-20	System Hardware	C	正 System Hardwareメニューで設定できる項目とその機能を示します。 「Thermal Sensor」と「Wake On Events」、「Console Redirection」、「Persistent Memory」は選択後、<Enter>キーを押してサブメニューを表示させてから設定します。
			誤 System Hardwareメニューで設定できる項目とその機能を示します。 「Thermal Sensor」と「Wake On Events」、「Console Redirection」は選択後、<Enter>キーを押してサブメニューを表示させてから設定します。
4-20	System Hardware	C	正 後述の図と差し替え
			誤
4-23	4-23のページの後	A	正 後述のページを追加
			誤
7-6	CPU1 broken 対処方法	C	正 POST中の表示は故障ではありません。OSが起動するまでそのままお待ちください。OS起動後しばらくたっても表示が続く場合は、保守サービス会社に連絡してください。
			誤 保守サービス会社に連絡してください。
7-6	CPU1 offline 対処方法	C	正 POST中の表示は故障ではありません。OSが起動するまでそのままお待ちください。OS起動後しばらくたっても表示が続く場合は、ftサーバーティリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装し直してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
			誤 ftサーバーティリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装し直してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
7-8	CPU2 broken 対処方法	C	正 POST中の表示は故障ではありません。OS起動後しばらくたっても表示が続く場合は、保守サービス会社に連絡してください。
			誤 保守サービス会社に連絡してください。

【区分】A:追加 C:訂正 D:削除 E:その他

Page	位置	区分	正誤内容
7-9	CPU2 offline 対処方法	C	正 POST 中の表示は故障ではありません。OS が起動するまでそのままお待ちください。OS 起動後しばらくたっても表示が続く場合は、ft サーバユーティリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装し直してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
			誤 ft サーバユーティリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装し直してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

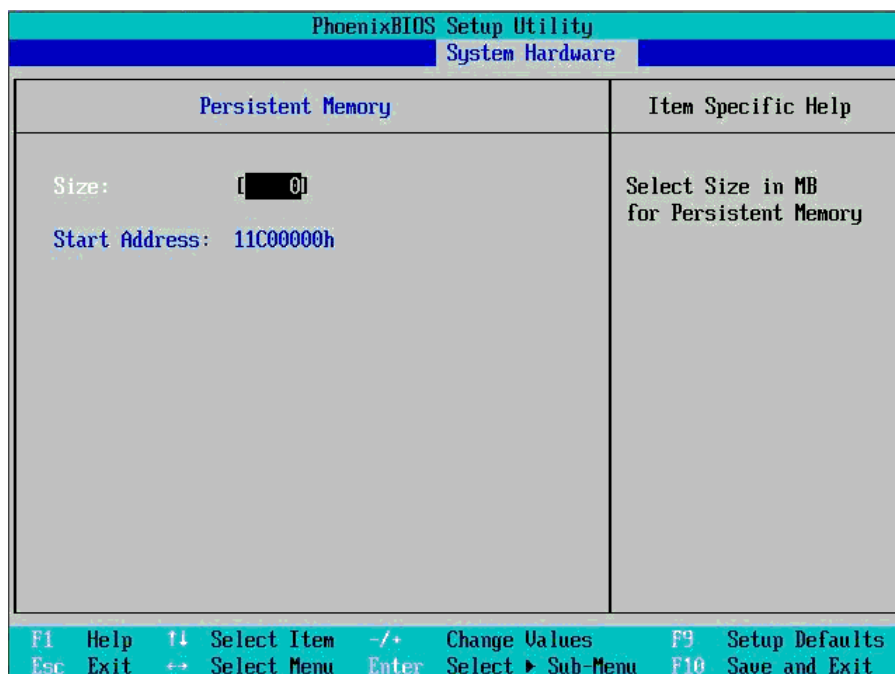
P4-20 中の図 置き換え



P4-23 の後に追加

Persistent Memory

System Hardware メニューで Persistent Memory を選択し <Enter> キーを押すと、次の画面が表示されます。



項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Size	[0]	Persistent Memory (ftMemory) 容量のサイズを設定します。(MB)
Start Address	-	Persistent Memory (ftMemory) のスタートアドレスを表示します。(表示のみ)

[] : 出荷時の設定



- Linux モデルではこの機能はご使用できません。出荷時設定のままご使用ください。